

課題シート① ～ 社会参加や就労に向けた最初の1歩となる機会の創出へ ～

現状と課題	- 生活困窮者の中には、早期に一般就労を目指すことができる方や、生活リズムの回復、社会とのつながりの再構築など、就労以前の支援が必要な方もいる状況。 - 令和7年度より、社会福祉協議会に「ひきこもり相談窓口」の設置を委託したところ相談件数は増加。社会との接点を持つ機会が少ない方が地域に一定数存在していることが明らかになった。 - 生活困窮者自立支援制度における就労支援対象者のうち、池田市内の企業で就労している人の割合は20%程度にとどまっていることから、地域の企業・団体などと連携しながら、就労に向けた段階的な支援や社会参加の機会を創出していくことの必要性を感じている。
これまでに実施してきたこと	- 生活困窮者自立支援制度による就労支援の実施 - 就労準備支援事業における協力企業への働きかけ - 大阪府広域就労支援事業の活用(農業体験、就労支援セミナー) - 就労支援員(キャリアコンサルタント)の配置 - 社会福祉協議会にひきこもり相談窓口の設置を委託
希望する提案	希望者の状況に応じて、就労に向けた段階ごとの支援を実施。 (1) 就労に向けた準備の取組 - 就労準備支援セミナーの開催 - コミュニケーション機会の提供 - 簡易な作業やPC操作などの体験機会の提供 (2) 就労体験の実施 - 職場体験の受入れ - 職場実習の受入先の確保 (3) 就労につながる支援 - 多様な事業者との連携による就労機会の創出

担当者コメント	生活困窮者やひきこもり状態にある方が、地域の中で社会とのつながりを持ち、それぞれのペースで社会参加や就労をめざすことができるよう、環境づくりを進めていきたいと考えています。 多様な業種の企業や団体の皆様と連携しながら、地域の中で社会参加の機会を創出していくことをめざしています。 企業のみならず、団体のみなさまからの幅広いご提案をお待ちしております！
募集期間	随時
実施時期	☒ 随時 ☐ 令和 年 月～ ☐ その他 ()
お問合せ	池田市 健康福祉部 生活福祉課 Mail : s-fukushi@city.ikeda.osaka.jp TEL : 072-754-6251
関連するSDGsの番号	1. 貧困をなくそう 3. すべての人に健康と福祉を 8. 働きがいも 経済成長も 11. 住み続けられるまちづくりを



大阪府広域就労支援事業(就労準備支援セミナー)



大阪府広域就労支援事業(農業体験)